



# 不明なユニキャストフラッディングのブロック

この章の内容は、次のとおりです。

- [UUFB について, 1 ページ](#)
- [UUFB の注意事項と制限事項, 2 ページ](#)
- [UUFB のデフォルト設定, 2 ページ](#)
- [UUFB の設定, 2 ページ](#)
- [標準, 6 ページ](#)
- [不明なユニキャストパケットをブロックする設定例, 6 ページ](#)
- [UUFB の機能の履歴, 6 ページ](#)

## UUFB について

不明なユニキャストパケットのフラッディング (UUFB) は、望ましくないトラフィックが VM に到達するセキュリティリスクを防ぐために、転送パス上の不明なユニキャストフラッディングを制限します。UUFB は、vEthernet インターフェイスおよびイーサネットインターフェイスの両方で受信された不明なユニキャストアドレス宛てのパケットによって、VLAN でフラッディングが発生しないようにします。UUFB が適用されると、VEM はアップリンクポートに着信した不明なユニキャストパケットをドロップします。

不明なユニキャストパケットをグローバルにディセーブルにした後、ポートプロファイルの1つのインターフェイスまたはすべてのインターフェイスでのユニキャストフラッディングを許可できます。

また、インターフェイスまたはポートプロファイルを設定して、不明なユニキャストがブロックされないようにすることもできます。

## UUFb の注意事項と制限事項

- UUFb を設定する前に、**show module** コマンドを入力して、VSM の HA ペアとすべての VEM が最新リリースにアップグレードされていることを確認します。
- 仮想サービスドメイン (VSD) ポートに対して UUFb を明示的にディセーブルにする必要があります。これは VSD ポートプロファイルで行うことができます。
- VMware によって提供される MAC アドレス以外の MAC アドレスを使用して、アプリケーションまたは VM のポートで UUFb を明示的にディセーブルにする必要があります。
- 不明なユニキャストがブロックされないように、インターフェイスを設定できます。
- 不明なユニキャスト パケットは、Unified Computing and Servers (UCS) がエンドホストモードで実行されている場合、UCS-Fabric Interconnect によってドロップされます。

## UUFb のデフォルト設定

パラメータ	デフォルト
<b>uufb enable</b>	Disabled
<b>switchport uufb disable</b>	Disabled

## UUFb の設定

### スイッチでの不明なユニキャストフラッディングのグローバルなブロック

スイッチの転送パスがフラッディングしないように不明なユニキャストパケットをグローバルにブロックするには、次の手順を使用します。

#### はじめる前に

この手順を開始する前に、EXEC モードで CLI にログインする必要があります。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードに切り替えます。
ステップ 2	switch(config)# <b>[no] uufb enable</b>	VSM の UUFb をグローバルに設定します。
ステップ 3	switch(config)# <b>show uufb status</b>	(任意) VSM の UUFb グローバル設定を表示します。
ステップ 4	switch(config)# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# uufb enable
switch(config)# show uufb status
UUFb Status: Enabled
switch(config)# copy running-config startup-config
[#####] 100%
```

## 不明なユニキャストフラッディングを許可するようにインターフェイスを設定する

VSM のフラッディングをグローバルにブロックした場合に、不明なユニキャストパケットによって vEthernet インターフェイスがフラッディングするのを許可するには、次の手順を実行します。グローバル設定に関係なく、特定のインターフェイスで不明なユニキャストパケットがブロックされないようにする場合も、この手順を使用します。

すでに不明なユニキャストパケットをグローバルにブロックしている場合、ポートプロファイルの 1 つのインターフェイスまたはすべてのインターフェイスでユニキャストフラッディングを許可できます。

### はじめる前に

この手順を開始する前に、EXEC モードで CLI にログインする必要があります。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードに切り替えます。
ステップ 2	switch(config)# <b>interface vethernet interface-number</b>	指定したインターフェイスに対してインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	switch(config)# [ <b>no</b> ] <b>switchport uufb disable</b>	指定されたインターフェイスに対するユニキャストパケットフラッディングのブロックをディセーブルにします。
ステップ 4	switch(config)# <b>show running-config vethernet interface-number</b>	(任意) 確認のため、インターフェイスの実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ 5	switch(config)# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface vethernet 100
switch(config-if)# switchport uufb disable
switch(config-if)# show running-config interface veth100

!Command: show running-config interface Vethernet100
!Time: Fri Jun 10 12:43:53 2011

version 4.2(1)SV1(4a)

interface Vethernet100
  description accessvlan
  switchport access vlan 30
  switchport uufb disable
switch(config-if)# copy running-config startup-config
[#####] 100%
```

## 不明なユニキャストフラッディングを許可するようにポートプロファイルを設定する

VSMのフラッディングをグローバルにブロックした場合に、不明なユニキャストパケットによる既存のvEthernetポートプロファイルのインターフェイスのフラッディングを許可するには、次の手順を実行します。グローバル設定に関係なく、特定のポートプロファイルで不明なユニキャストパケットがブロックされないようにする場合も、この手順を使用します。

すでに不明なユニキャストパケットをグローバルにディセーブルにしている場合は、ポートプロファイルの1つのインターフェイスまたはすべてのインターフェイスでのユニキャストフラッドを許可できます。

## はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認してください。

- CLI に EXEC モードでログインしていること。
- フラッドを許可する vEthernet ポートプロファイルが設定されていること。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードに切り替えます。
ステップ 2	switch(config)# <b>port-profile profile-name</b>	指定されたポートプロファイルのコンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	switch(config-port-prof)# [no] <b>switchport uufb disable</b>	指定されたポートプロファイルのすべてのインターフェイスに対するユニキャストパケットフラッドのブロックをディセーブルにします。
ステップ 4	switch(config-port-prof)# <b>show running-config port-profile profile-name</b>	(任意) 確認のため、指定されたポートプロファイルの設定を表示します。
ステップ 5	switch(config-port-prof)# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile accessprof
switch(config-port-prof)# switchport uufb disable
switch(config-port-prof)# show running-config port-profile accessprof

!Command: show running-config port-profile accessprof
!Time: Fri Jun 10 12:06:38 2011

version 4.2(1)SV1(4a)
port-profile type vethernet accessprof
  vmware port-group
  switchport mode access
  switchport access vlan 300
  switchport uufb disable
  no shutdown
  description all_access
switch(config-port-prof)# copy running-config startup-config
[#####] 100%
```

## 標準

この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。

## 不明なユニキャストパケットをブロックする設定例

次に、VSMの転送パスがグローバルにフラディングしないように不明なユニキャストパケットをブロックする例を示します。

```
n1000v# config terminal
n1000v(config)# uufb enable
n1000v(config)# show uufb status
UUFb Status: Enabled
n1000v(config)# copy running-config startup-config
[#####] 100%
```

## UUFb の機能の履歴

この表には、機能の追加によるリリースの更新内容のみが記載されています。

機能名	リリース	機能情報
UUFb	4.2(1)SV1(4a)	この機能が導入されました。